

TOPIC
02

プラスチック資源の不適切排出について

昨年7月から始まったプラスチックの資源回収が1年経過しました。



ごみ集積場所に出されたプラ資源の中身を確認して回収後、全ての袋を開封し、プラ資源以外のものが入っていないか点検します。点検したものは1㎡ぐらいの大きさにまとめてリサイクル工場へ運びます。リサイクル工場に運び込まれた一部です。

今年度初回検査結果は、皆様のご協力のおかげでほぼきれいな状態でした。

しかし、回収時・中間処理で点検しても、
対象外の物が混ざってしまいます

令和6年 5月22日実施

プラスチック資源バール(中間処理後にまとめたもの)検査結果

比率評価

A

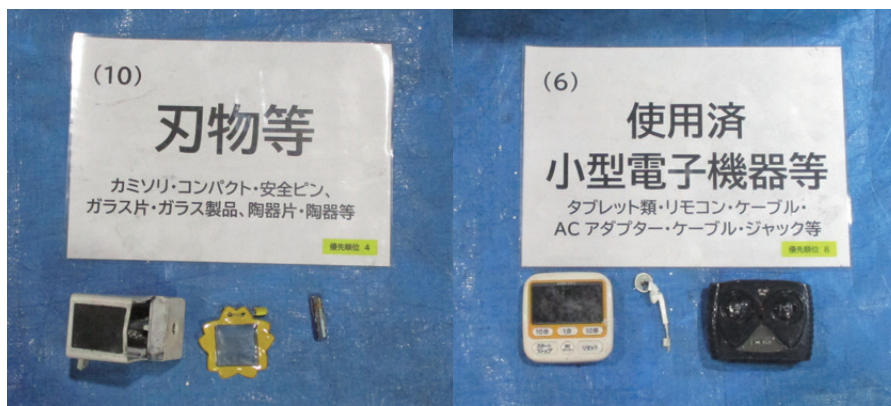
禁忌品の混入

有

構成比率 プラ容器・製品:97.58% その他(異物):2.42%

<異物>・ペットボトル:0.44%、他素材の容器・製品:1.11%、汚れたプラスチック:0.54%、その他(禁忌品を含む):0.33%

今回の検査で出てきた不適物を報告させていただきます!



・カミソリの替え刃
・安全ピン付き名札
・鉛筆削り
・タイマー、イヤホン
・上記以外にボタン電池もありました。火災の恐れがある物です。排出方法を必ずお守りください。

プラ資源の分別回収は、まずは簡単に分別できるものから始めましょう!

分別に迷ったら、昨年7月に全戸配布したパンフレット「ごみと資源の分け方出し方」の分別早見表や、町ホームページの「[ごみ分別検索](#)」が便利です!

引き続き、プラ資源の回収にご協力をお願いします。



▲ごみの分別検索